

議会を変えよう！ 市政を変えよう！

ふじしろ政夫と共に市政を変える会 ニュース 03年5月号

発行責任 ふじしろ政夫と共に市政を変える会

鎌ヶ谷市東初富 5-24-50 TEL 047-445-9144 (FAX 兼用)

ホームページ <http://chiba.cool.ne.jp/fuzisiro/> e-mail masao.fujishiro@zc.wakwak.com

「住民自治のまち かまがや」へ ふじしろ政夫

— 今回の選挙をめぐって —

今回の鎌ヶ谷市議選は、昨年「清水市長」を誕生させた住民の思いに応えるような「市民が主役のまち」にかまがやが変わりきれぬのか、それとも「議会が古い体質のままの状態」で旧来の流れに戻ってしまうのか、大きな選択を迫られる選挙でした。

投票率は、48.86%とやや残念な数字ですが、その投票内容は、市民のみなさんが、確実に鎌ヶ谷を変えようという行動を取り始めていると考えられます。



わたし、ふじしろ政夫は、「市民が主役のまち」、市民ひとりひとりが自分たちのまちを自分たちの手でつくっていく「住民自治のまちかまがや」をつくっていききたいとのその一心で選挙活動を頑張りました。辻立ちの演説を多くの街頭で行うなか、市民の皆様から、ご支援ご支持を賜り、初当選することができました。

今、鎌ヶ谷を変えることができるという確信と、うれしい気持ち、皆様への感謝の気持ちでいっぱいです。

これからは、具体的に議会の中で活動の第一歩を踏み出すことになります。

歩道の整備、高齢者社会における福祉施策、緑豊かな自然の再生条例などなど諸問題を“市民参画”のまちづくりの仕組みをつくっていくなかで解決していこうと思っております。

皆様と共にすばらしい「ふるさと鎌ヶ谷」をつくっていきましょう

◇鎌ヶ谷 (27-37)

当	2,018	池ヶ谷	富士夫	51	公現⑤
当	2,001	小易	和彦	36	公新①
当	1,692	野村	誠剛	49	公現③
当	1,606	佐藤	誠	54	公新①
当	1,557	石井	一美	58	無現⑥
当	1,508	大野	幸一	58	無現⑤
当	1,504	勝呂	幸一	61	公現⑧
当	1,488	小泉	巖	61	無現②
当	1,458	石神市	太郎	51	無現②
当	1,431	津久井	清	58	社現④
当	1,298	平原	俊雄	61	無現⑦
当	1,295	勝又	勝	41	無現③
当	1,183	月野	隆明	65	無現⑥
当	1,180	土屋	裕彦	41	無現③
当	1,177	泉川	洋二	40	無新①
当	1,170	三橋	一郎	51	無現③
当	1,154	藤代	政夫	55	無新①
当	1,145	篠崎	史範	38	無現②
当	1,116	宮城登	美子	52	共新①
当	1,101	鈴木	道雄	65	無現④
当	1,048	松沢	一男	61	無現⑥
当	1,016	原	八郎	60	無新①
当	970	谷間	保彦	58	無新①
当	966	芝田	裕美	41	無新①
当	959	野上	実	64	無新①
当	913	川上	智且	48	無現③
当	876	板津	邦彦	67	無現③
当	833	塩島	てるこ	61	共現
当	797	塩沢	敏行	57	無現
当	657	佐藤	キク	73	無新
当	644	青山	忠雄	56	共新
当	539	万代	達夫	26	無新
当	340	森田	光子	61	無新
当	246	箕輪	祐吉	70	無新
当	183	柴田	光泰	45	無現
当	145	内田	幸恵	36	無新
当	140	西野	久雄	68	無新

＝確定得票

8. 25住基ネット本格稼働

ICカード始まる！！

— 6月議会に向けて、住基ネットを考える —

昨年の8月5日すべての国民に11桁の番号がつけられました。6情報(氏名、住所、生年月日、性別、付随情報、11桁の番号)が本人確認情報として、全国ネットに載せられ始まった住基ネット。

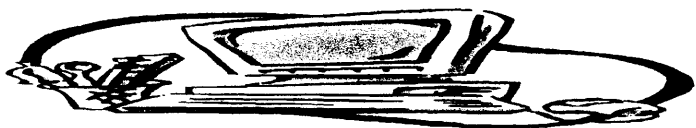
投票率 48.86%

当初より多くの問題点が指摘されております。

- ①個人情報保護の法体制ができていない
 - ②国民総背番号制への危険性が大きい
 - ③個人情報保護のセキュリティーに問題がある
 - ④自己情報コントロール権が確立されていない
- などなど。

自治体住民の個人情報を守りきれないと判断した福島県矢祭町、東京都杉並区、国分寺市、中野区、国立市は、ネットに接続していません。

また、横浜市は、市民の選択性をとり、84万横浜市民の拒否の意思を尊重しています。



鎌ヶ谷市でも昨年8月9日の市長声明で、個人情報保護のため、万全を尽くすと語っています。そして、問題を多く抱えた中、今年8月25日にはすべての住民に住基カード(11桁の番号のついたICカード)が配られます。〈希望者〉このカードの中にどのような情報を入れていくのか、どのように使っていくのか、それを決めるのは、市議会です。

“ひとりにひとつの番号そして1枚のカード、その中に情報を入れていく”果たしてこれが便利さだけで語られていいのでしょうか!

私達市民一人一人が自立した社会・自治のまちをつくっていくためには、自分の情報は、自分でコントロールできる(自己情報コントロール権)社会でなければなりません。国(総務省)からの提案では、このカードの中に、病院での検査歴、病歴あるいは、図書館での本の貸し出しなどの個人情報を入れようとしています。さらに、民間企業のポイントカードにも使っていこうとしています。

住民ひとりひとりの個人情報の利益と権利を守る責務は、国ではなく地方自治体にあります。市長と議会は共に住民の権利を守るため、よりよい対応をとっていく必要があります。

ふじしろ政夫は、市民のプライバシーを守っていくためには、今回のICカードの導入は、ストップすべきであると考えています。

だから

やめよう住基ネット!

市民のおもい

—市民のひとりとして—

市政を変える会副会長 武田信明

市議会議員選挙の結果に感動しました。地盤、看板、カバンもない全くの新人でありながら27名中、堂々の17位で当選できたのも皆様のお蔭です。

選挙期間中のふじしろさんの言動は、他の候補者とは、一味も二味も違っていました。街角での辻立ち演説では、立候補のスローガンである「議会を変えよう・市政を変えよう」の合言葉をわかりやすく、しかも熱っぽく語り、最後に皆様のご声援を賜りたいと結び、1回たりとも票欲しさの言葉を口にしませんでした。

私自身、ふじしろさんの演説を何回も身近で聴いていてもあまりの熱弁故に胸の熱くなるのを覚えました。



家の中で聴いておられた方々がわざわざ外に出てきてくださったり、通行中の方が演説の終わるときには、拍手をして、頑張れよと声援をおくってくれたときには、この人、ふじしろさんのような立派な候補者を応援して正解だった、本当によかったと思いました。

皆様のお蔭を持ちまして市議会議員となったふじしろさんには、皆様にお約束した事柄を任期中に実現すべく働いてもらわなければなりません。ふじしろさんなら、皆さんの期待に応える情熱と知性と行動力で必ずやり遂げるものと確信します。